

10月 常議員会報告

●報告事項

- (1) 1号議員の選挙結果及び議員の職務を行う者について
- (2) 9月～10月の各種会議報告
- (3) 「歴史的建造物めぐり&ぐるめウォーク」開催報告
- (4) 観光部会視察研修報告
- (5) 建設工業部会第9回鶴岡市建設当局との懇談会開催報告
- (6) 「バイオベンチャーの取組みを学ぶ」講座開催報告
- (7) 「先進企業に学ぶ事例と取組み」会員視察研修開催報告

●協議事項

- (1) 新会員の承認について
- (2) 各部会の常議員の推薦数について
- (3) 顧問の委嘱について
- (4) 役員及び議員の表彰について
- (5) 中期行動計画の推進に係る委員会の設置について
- (6) 平成29年度鶴岡市への要望事項(案)について
- (7) 小規模事業者支援法に基づく「経営発達支援計画」に係る認定申請について
- (8) 第55回鶴岡商工会議所会員企業従業者表彰者について
- (9) 第13回創業・創立記念会員事業所顕彰事業所について
- (10) 臨時議員総会の開催について

11月

●報告事項

- (1) 10月～11月各種会議報告
- (2) 管内の7月～9月景況調査集計結果について
- (3) 平成29年度鶴岡市への要望書提出報告
- (4) 鶴岡市共通商品券「荘内藩藩札」発行実施報告
- (5) 本会議所駐車場の亀裂発生について

●協議事項

- (1) 新会員の承認について
- (2) 第13回創業・創立記念会員事業所顕彰の追加について
- (3) 第55回会員企業従業者表彰の追加について

12月

●報告事項

- (1) 11月～12月の各種会議報告
- (2) 「ビジネスマッチ東北2016」見学会報告
- (3) 第55回鶴岡商工会議所会員企業従業者表彰開催報告
- (4) 第13回創業・創立記念会員事業所顕彰開催報告
- (5) 「鶴岡ものづくり企業懇談会」開催報告
- (6) 当所中間監査実施報告
- (7) 各部会視察研修等開催報告
- (8) 東京商工会議所江戸川支部との懇談会開催報告
- (9) 青年部活動報告
- (10) 女性会活動報告

●協議事項

- (1) 新会員の承認について
- (2) 中期行動計画の推進に係る委員会の委員について



市民の翼 中国マーケット視察ツアー 鶴岡の魅力を 世界へ発信!

アジアに向けた輸出促進を目的としたツアーが開催され、早坂会頭を団長に総勢20名が中国を訪れました。香港・中国華南地域の各所を巡り、今後鶴岡市を試験的にアピールすると同時に、販路拡大の可能性を見つける有意義な旅となりました。

視察先一覧

平成28年10月31日～11月3日

■みずほ銀行、ジェトロ香港訪問

みずほ銀行香港支店、ジェトロ香港にて、東アジア、中国華南、香港の経済情勢、輸出入の現状等の情報交換。

■ヤマト運輸物流拠点視察

ヤマト運輸香港の国際クール宅急便の物流拠点を視察。国際クール宅急便の配送システムについて視察。

■広州交易会視察

中国最大・最古の大商談会。出展者数2万店超のその規模と活気溢れるエネルギーに圧倒されました。

■^{しんせん}深圳市の高級レストランで鶴岡製品の試食求評会を実施

鶴岡からジュース(リンゴ、ラ・フランス、桃、ブルーベリー)、ジャム、トマトピューレ、紅えび煎餅等を持参。現地レストランスタッフに味の意見を調査しました。酸味を嫌い、強い甘味を好み、健康志向が強く無添加を選ぶ傾向が。桃は興味少なく、トマトには感心せず、事前の予想を覆す結果となりました。

■「道の駅 香港」視察

香港在住日本人が本年7月に開店した、日本のローカル特産品のアンテナショップ。規模は小さいが大型店で取扱っていない日本の地方の名(迷)産品を取り扱っているお店です。鶴岡産品の試験販売のためのアンテナショップとして利用できる可能性大。今回の視察ツアーで得た情報を、今後の東アジア輸出促進のきっかけにしていきたいと思ひます。

地域・企業・団体の新連携・マッチングに挑戦 鶴岡ものづくり企業懇談会開催



日時:平成28年12月6日 場所:東京第一ホテル鶴岡

各機関・団体の相互理解やマッチング等を目的とし、34の企業・支援団体から56名が参加。第一部では、鶴岡工業高等専門学校の高橋学校長よりご講演いただき、第二部では市内ものづくり企業4社と、県内支援機関3社が事業内容についてのプレゼンを行いました。第三部では、ブース内に実製品やパネル等を展示して事業紹介・意見交換がなされ、地域の企業についてより深く知る機会となりました。

東京商工会議所 江戸川支部訪問

時を越えて
更なる連携強化と
相互理解を深める



写真は多田正見江戸川区長への表敬訪問

日時:平成28年11月17日～18日
メンバー:総務委員会14名

1 日目は、江戸川区役所を表敬訪問し、次に江戸川支部の会員企業「(株)オーティエス」を企業見学。ファッション物流業について視察させていただきました。東京商工会議所江戸川支部では、平田善信会長をはじめとする支部役員の皆さんと懇談し、相互の親交を深め、今後の交流継続を確認しました。先方には、山形県出身の方や学童疎開時に旧温海町に疎開した経験を持つ方もおられ、次回は鶴岡にお越しいただき、鶴岡の魅力を発信していきたいと思ひます。

2 日目には、「第18回江戸川区産業ときめきフェア」を視察。フェアには江戸川区の企業等134企業・団体が出展しており、鶴岡市からもアサヒニイズマ社等4団体が出展。自社商品をPRしました。今後も江戸川支部との交流の中から、互いの産業振興に資する交流を続けたいと考えます。



サービス部会



産業・歴史・文化… 地域財産の活用法を学ぶ

期日/平成28年11月14日～15日
場所/岩手県小岩井農場、あさ開酒造 秋田県小坂町

小岩井農場にて、日本観光振興協会主催「第8回産業観光まちづくり大賞」で「観光庁長官賞」を受賞されたガイドツアーを体験。創始者3名の頭文字をとった小岩井農場の名前の由来から歴史等を伺い、広大な敷地内にある重要文化財の現在も使用している牛舎や倉庫、宮沢賢治の「注文の多い料理店」のモデルとなった天然冷蔵庫等の施設を見学。あさ開酒造において「現代の名工」南部杜氏として名高い藤尾杜氏より、酒造りの工程から品質へのこだわりや日本酒の効能等ご講話いただき、製造工程に沿って酒蔵を見学しました。翌日は秋田県小坂町の国重要文化財指定の明治の芝居小屋「康楽館」において、楽屋や役者をせり上げる装置の切穴(すっぽん)、回り舞台等を見学し、オレオレ詐欺を題材とした社会派娯楽時代劇を鑑賞。古き物を大切にしながらの地域資源活用について再認識致しました。

運輸交通部会



安全運転の再確認 企業の取り組みを見つめる

期日/平成28年11月16日～17日 場所/東京都 pasta新宿、ANA安全教育センター

Pasta新宿は、今まで分散していた高速バスターミナルを南口一箇所に集約された建物で、発券カウンターは空港のように多くの利用者で賑わっておりました。ANA安全教育センターでは、安全について取り組む姿勢を学びました。どんな業務でも小さなミスが連鎖が重大事故へとつながりかねない危険性を持っていること、連携、行動、コミュニケーションの重要性と責任ある誠実な行動が安全を確立するものだという事を教えられました。

工業部会・鶴岡エネルギー懇談会 合同視察研修会



卸売商業部会



自然を味方に 次世代の街づくりを視察

期日/平成28年11月15日～16日
場所/東京都臨海広域防災公園(そなエリア東京)
パナソニックスマートシティFujisawa他

初日の「そなエリア東京」では、地震の発災からの72時間を自力で生き抜く知恵を学ぶ防災体験学習ツアーに参加。防災意識を高めました。2日目は、藤沢市とパナソニック等の企業が官民一体で整備しているパナソニックスマートシティを見学。電線を地中化し光や風が隅々まで届くような街区設計がなされ、全ての建物に太陽光パネルや蓄電池・省エネ設備を導入しCO2排出削減・節電から売電への取り組みの他、雨水の利用による生活用水の削減も行われ、災害に強くエネルギー負担が少ない「エコで快適」な暮らしを実現していました。



小売商業部会



個店の元気が商店街の元気! まき鯛車商店街の取り組み視察

期日/平成28年11月28日 場所/新潟県新潟市まき鯛車商店街

平成22年5月、新潟市西蒲区巻地区に11ある商店街のお店が一緒になり、「まき鯛車商店街」と呼称を統一して地区内外に発信。商売繁盛実行委員会企画運営統括の橋本貴之氏は、「真の活性化された商店街とは繁盛店が軒を連ねる商店街であり、商店街を構成する一店一店が本業である商売がきちんと成り立ってこそ、活性化の道が開ける。」として、「店に入りやすいか、邪魔なポスターが貼っていないか、商品は手に取りやすいか、欲しい商品はあるか、ようこそという気持ちで迎えているか等、お客様の目線に立って自分の店を見てみよう」と講話をいただき、個店の魅力アップを再確認する機会となりました。

震災の教訓を忘れない——。 企業で取り組む防災意識のあり方

期日/平成28年11月10日～11日
場所/①福島県 東北電力(株)南相馬変電所系統用蓄電池システム②相馬共同火力発電(株)新地発電所③(株)IH

(株)IHなど日本を代表する製造業や、東北電力(株)や相馬共同火力発電(株)などエネルギーに関する企業を訪問。事業概要のほか、普段は見ることのできない現場の最前線を見学したり、震災当時の様子や対応状況をお聞きしました。南相馬市は福島原発からわずか20kmの距離で、未だ至る所で除染作業が行なわれており、海岸沿いの地域は津波の影響が残るなど、復興にはまだまだ時間がかかる様子。エネルギーが安定的に供給され、当たり前の生活が送れる幸せをかみ締める研修となりました。